

スタートアップ・アクセラレーター研究所

Institute for Startup Accelerator

研究所の概要

1. 目的

【ミッション】イノベーションを通じて社会に価値を生み出す活動・人材をアクセラレートできる仕組みを産官学連携で調査研究し、実践促進及び啓発をしていくことをミッションとする。

2. 設置期間

2020年7月1日～2028年3月31日

3. メンバー

40名（所長を除く）

4. 活動概要

【ビジョン】イノベーションとアントレプレナーシップを東京及び国内外でアクセラレートして、新規事業を醸成し、持続的成長を実現しつつ、リーダーシップを発揮できる人材育成に貢献していく。

【バリュー】

- ・ 人生100年時代のスタートアップ支援
- ・ イノベーションとアントレプレナーシップの加速
- ・ 「ネクスト・ユニコーン」と地域課題解決
- ・ SDGsの推進
- ・ ITとデジタルの効果的な発揮
- ・ デザイン思考の発揮
- ・ 理論と実践（産学官、実務家と研究者等）

【位置づけ】

- ・ 本学、東京都立産業技術大学院大学における3つのミッション「①プロフェッショナルの育成、②複線型教育（PBL）、③シンクタンク機能」を基盤として、スタートアップ・アクセラレーターのテーマについて、当該の3つのミッションに対する大きなシナジー効果と具体的にフォーカスしたテーマの研究成果を果たす担い手となる。
- ・ 上記を実現するために、当該テーマにおける国内外の最先端の研究者や実践者、東京都檜原村等の行政部門、関連する企業等と連携活動を行う。
- ・ 本研究所の活動により、イノベーションを通じて社会に価値を生み出す活動・人材をアクセラレートできる仕組みや知見を研究し、広く世の中に発信周知するとともに、当該テーマの担い手の支援実践や啓発を果たす機関を目指す。



所長

板倉 宏昭

ITAKURA Hiroaki

キーワード

スタートアップ、アクセラレーター、地域ビジネス、アントレプレナー、イントラプレナー、事業承継、エコシステム、地域マネジメント、サーバイデータ分析

令和7（2025）年度の研究活動内容及び成果

1. 活動内容

【調査研究】

- ・ 起業家・起業家支援者インタビューおよび知見の研究
- ・ スタートアップ・アクセラレータープログラムの調査研究
- ・ スタートアップ課題や担い手の課題等の解決策の研究
- ・ 工程別アクセラレーター方法論の研究開発
- ・ 各種学会における発表
- ・ 檜原村における調査研究

【セミナー等の開催】

- ・ 産学官とタイアップしたセミナー等の開催
- ・ セミナー参加者を通じた事例研究やアクセラレーター施策の取り纏め
- ・ 檜原村における研究会の実施

【アクセラレータープログラムの実装】

- ・ アクセラレータープログラムの開発と実装
- ・ 東京都中小企業振興公社等における当該アクセラレータープログラムの提供
- ・ 檜原村におけるスタートアップの支援

2. 成果

- ・ 内外の研究者による研究会を計3回実施した。
- ・ 2024年7月に東京都檜原村と締結した「交流・連携に関する協定」を、都民の森『三頭山の日イベント』参加するなどして持続的に関係を強化した。
- ・ ホームページ (<https://aix.main.jp/italabo/>) から、本研究所における連携プロジェクトや研究会の状況等について情報発信を行った。
- ・ スタートアップ・アクセラレーター研究所 報告論文集 第5号（2025年3月発行）の編集発行を行った。
- ・ 公立大学法人高知工科大学、公立大学法人福知山公立大学北近畿連携機構との教育研究に関する連携を進めた

令和8（2026）年度の計画

【調査研究】

- ・ 起業家・起業家支援者インタビューおよび知見の研究
- ・ スタートアップ・アクセラレータープログラムの調査研究
- ・ スタートアップ課題や担い手の課題等の解決策の研究
- ・ 工程別アクセラレーター方法論の研究開発
- ・ 各種学会における発表

- ・ 檜原村における調査研究

【セミナー等の開催】

- ・ 産学官とタイアップしたセミナー等の開催
- ・ セミナー参加者を通じた事例研究やアクセラレーター施策の取り纏め
- ・ 檜原村における研究会の実施

【アクセラレータープログラムの実装】

- ・ アクセラレータープログラムの開発と実装
- ・ 東京都中小企業振興公社等における当該アクセラレータープログラムの提供
- ・ 檜原村におけるスタートアップの支援